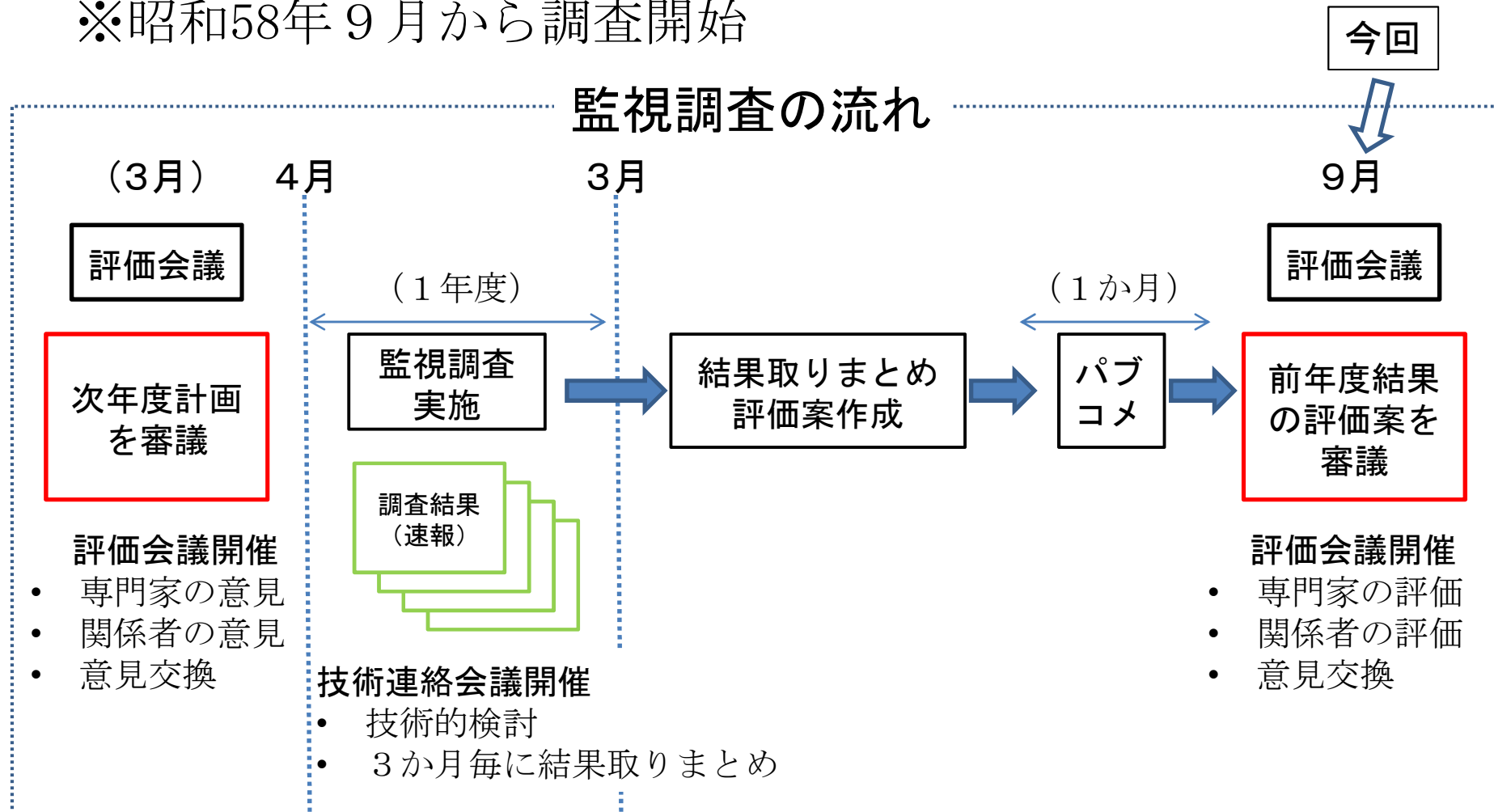


# 環境放射線監視調査結果について

## <目的>

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所周辺地域の放射線及び放射能を把握
  - ・ 安全協定に基づき、県、東京電力が調査を実施
- ※昭和58年9月から調査開始



## <評価方法>

測定結果を**対照期間**の測定値の範囲と比較して**区分**

### ○対照期間 (①+②)

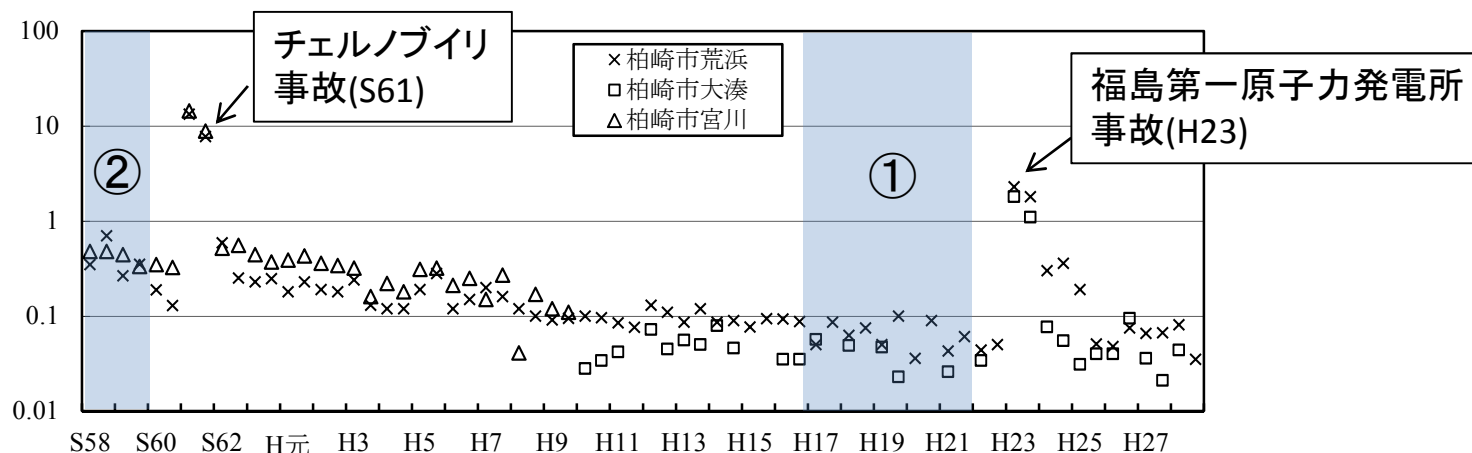
①福島第一原子力発電所事故前の5カ年 (平成17～21年度)

②事前調査期間 (~昭和59年12月)

※②の期間以降に調査を開始したものは、①のみが対照期間

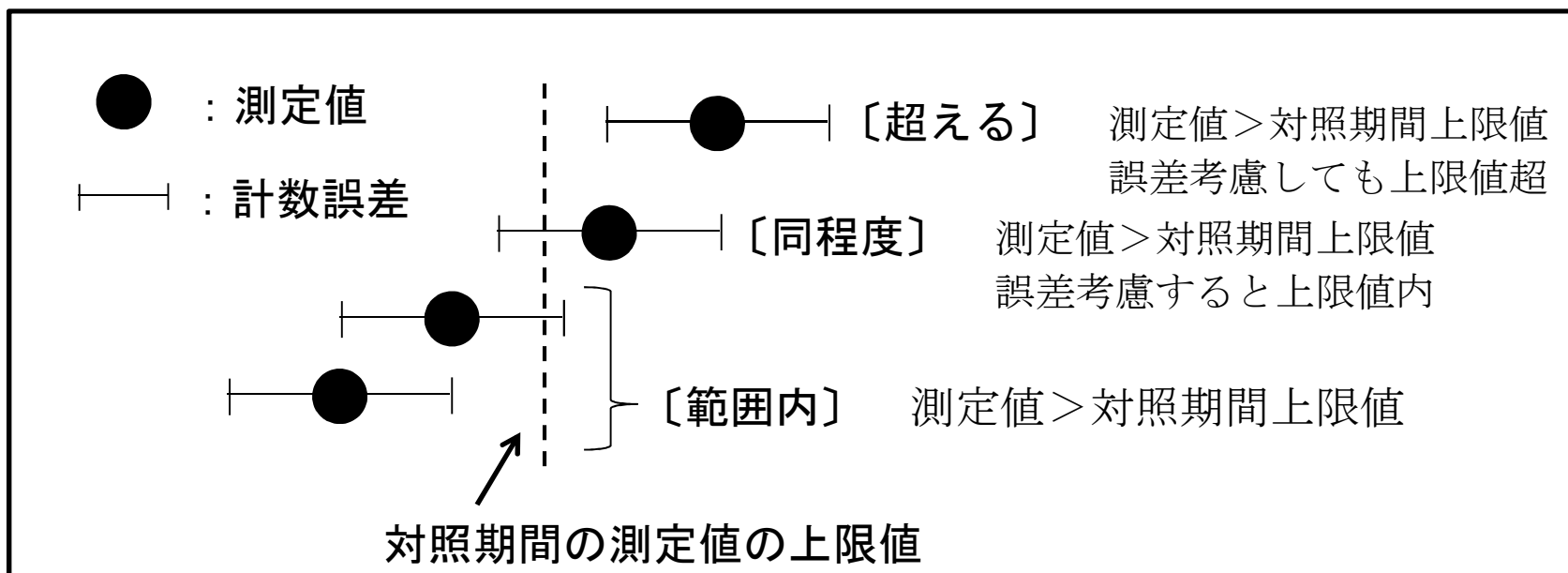
②の期間の測定値は、過去の核実験等の影響が現在よりも大きい

※参考：柏崎刈羽原子力発電所運転開始は昭和60年



【参考】松葉中のセシウム137の濃度推移

## ○区分：対照期間の測定値の上限値との大小関係で区分



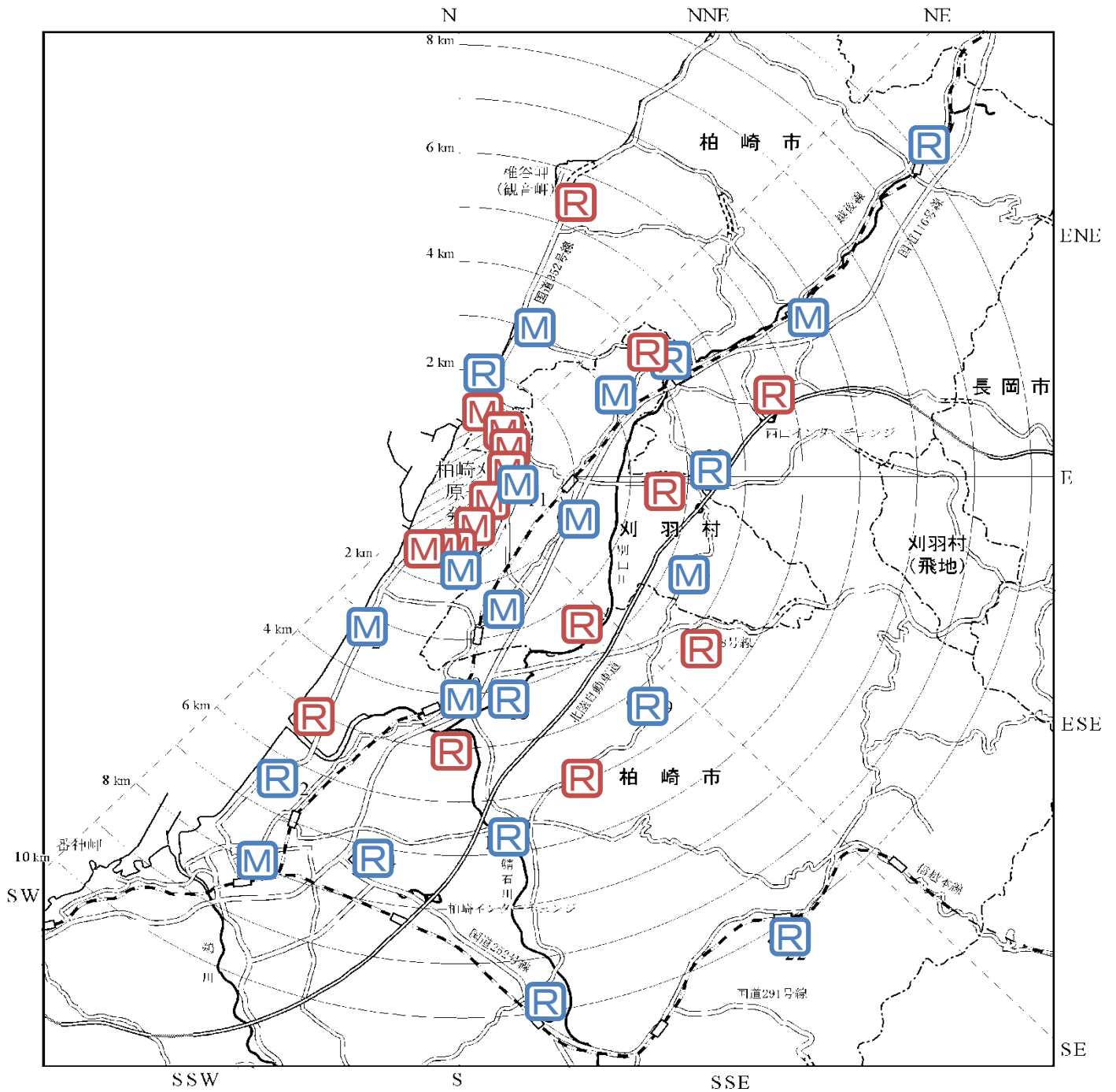
〔超える〕：測定結果の計数誤差を加味しても対照期間の測定値の上限値を超える

〔同程度〕：測定結果が対照期間の測定値の上限値を超えるが、計数誤差を加味すると対照期間の測定値の上限値と同程度となる

〔範囲内〕：測定結果が対照期間の測定値の上限値を超えない

※空間放射線は、計数誤差を考慮せず〔超える〕又は〔範囲内〕で区分

〔超える〕と区分されたものは、柏崎刈羽原子力発電所の影響かどうか評価する



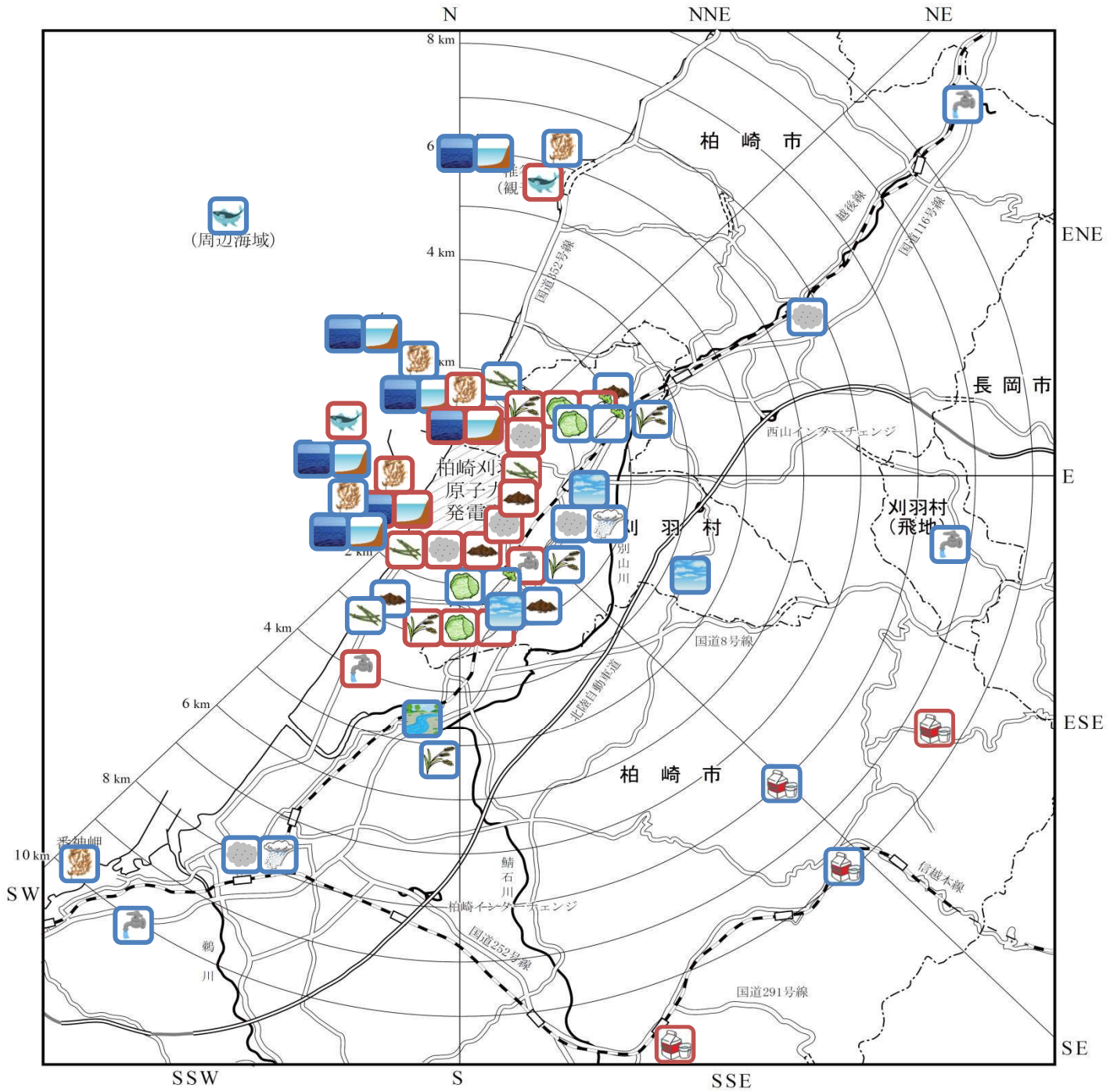
**M** 空間放射線量率（モニタリングポスト）＋積算線量（蛍光ガラス線量計）  
 測定地点数 県（11）  
 東電（9）

**□** 新潟県

**□** 東京電力

**R** 積算線量（蛍光ガラス線量計）のみ  
 測定地点数 県（11）＋（5）[対照地点]  
 東電（9）

### 空間放射線測定地点



	大気中放射性ヨウ素・浮遊じん	県 : 3 東電 : 3 (*1)
	大気(大気中水分)	県 : 4 (*2) 東電 : 0
	降下物	県 : 2 東電 : 0
	飲料水・原水	県 : 3 東電 : 2
	河川水	県 : 1 東電 : 0

	陸土	県 : 3 東電 : 2
	精米	県 : 3 東電 : 2
	キャベツ	県 : 2 東電 : 2
	大根	県 : 2 東電 : 2
	牛乳	県 : 2 東電 : 2

	松葉	県 : 2 東電 : 2
	海水	県 : 5 東電 : 2
	海底土	県 : 5 東電 : 2
	魚貝類	県 : 4 東電 : 3
	海藻	県 : 3 東電 : 4

新潟県  
 東京電力

(\*1) ヨウ素は未実施  
 (\*2) 対照地点(1)を含む

※「県」「東電」に続く数字は地点数あるいは種類の数

## 試料採取地点

# 平成28年度監視調査結果（概要）＜新潟県＞

## ○主な調査結果と区分

調査内容	区分	地点、環境試料等
空間放射線量率	〔範囲内〕	
積算線量	〔超える〕	勝山局、土合局
放射性ヨウ素	〔範囲内〕	(不検出)
浮遊じん	〔範囲内〕	
機器分析		
検出された人工放射性核種 ・セシウム137	〔同程度〕	飲料水
	〔範囲内〕	(その他試料)
放射化学分析		
ストロンチウム90	〔範囲内〕	
トリチウム	〔範囲内〕	
プルトニウム	〔超える〕	海底土

※測定方法・採取地点の変更  
なし

# 平成28年度監視調査結果（概要）＜東京電力＞

## ○主な調査結果と区分

調査内容	区分	地点、環境試料等
空間放射線量率	〔範囲内〕	
積算線量	〔超える〕	MP－9
浮遊じん	〔範囲内〕	
機器分析		
検出された人工放射性核種 ・セシウム137	〔超える〕	キャベツ
	〔範囲内〕	（その他試料）※
放射化学分析		
ストロンチウム90	〔範囲内〕	
トリチウム	〔範囲内〕	

※海産物（ヒラメ）については、分析に必要な試料量に達しなかったため、参考値としています。

※測定方法・採取地点の変更  
キャベツの採取場所を変更